

# 議員から提出され可決した発議

3月定例会で可決した発議は次のとおりです。  
意見書については、衆参両院議長、関係大臣、県知事等へ送付しました。

●米価下落対策に関する意見書について

●新型コロナウイルスワクチン接種の安全かつ円滑な実施を求める意見書について

●匠瑤市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

決議した意見書は次のとおりです。

## 米価下落対策に関する意見書

令和元年産の米在庫が20万トンもあるという状況が伝えられる中で令和2年産の収穫が始まりました。

米価の下落が懸念されていますが、対前年比で概ね1、000円安でスタートしました。しかしながら、やはり懸念されていたコロナ禍での外食需要の落ち込みは想像以上でした。

収穫期終盤までには、米価は2、000円から3、000円の落ち込みで推移し、いまだ回復の兆しがありません。



このような状況下で令和3年産米の作付け計画をするに当たり、3年産米は危機的状態になると予想されます。

農林水産省も危機的状況を踏まえた予算編成を組んだと報道されており、また、これを受けて新潟県は既に農家の手取りが10アルル当たり15万7、000円になる施策を打ち出し、北海道も追従する方向だと伝わっています。

千葉県におかれましてはこの状況を共有していただき、国の予算を積極的に活用し、千葉県の独自性を持った施策を実行されたく、下記の事項につきまして、強く要請します。

### 記

- 1 再生産できる価格の保証と農家手取り10アルル当たり15万7、000円以上の実現
- 2 MA米の輸入取りやめ又は輸入数量の見直しについての国への働きかけ

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

## 新型コロナウイルスワクチン接種の安全かつ円滑な実施を求める意見書

中華人民共和国湖北省武漢市において発生したコロナウイルス関連肺炎（以下、新型コロナウイルス）は、いまだに治療法が確立されておらず、世界中で感染が広がり、日本においても緊急事態宣言が発出され市民の生活にも影響を及ぼしており、さらには変異ウイルスも蔓延を始めている。

そのような中、2月17日より医療従事者から優先的に開始されたワクチン接種は、新型コロナウイルスの感染拡大を抑える切り札として期待が寄せられており、当局においてもワクチン接種の安全かつ迅速な実施に向けて全力で準備を進めているところである。

しかし、今後予定されているワクチンの供給体制については、具体的な計画が示されておらず、アナフィラキシーショック等の副反応対策や感染防止対策を構築していくこととあわせ、ワクチン接種が安全かつ円滑に進められるか憂慮されるところである。

ついては、ワクチン接種の実施にあたり、国において下記の

事項に対し特段の配慮を講じられることを強く求めるものである。

### 記

- 1 海外製ワクチンを含めた確保・備蓄をはじめとして、地方自治体への供給を速やかに行うこと。
- 2 ワクチン接種の有効性をはじめ、接種に関わる情報を具体的に周知・広報の上、副反応に対する国民の不安を解消し、安心して接種が受けられるよう、自治体への支援を行うこと。

- 3 ワクチン接種における接種記録・予約等に係るシステム改修やコールセンター設置など、実際のワクチン接種に必要な費用とワクチン接種体制確保への国庫補助金に剥離が生じ、地方への負担が生じることのないよう、国の責任において必要な措置を講ずること。

- 4 一元的な相談窓口での、相談体制を強化し、副反応による健康被害に対し、その原因調査と健康回復への支援を積極的に行うこと。

- 5 ワクチン接種の実施については、医療機関による個別接種と、自治体の公共施設等においての集団接種の併用が検

討されているが、医療機関への負担が大きくなることから、個別接種の円滑な実施に向け、通常診療への影響を考慮した協力金などで、地域の実情に応じたワクチン接種体制の構築ができるよう財政支援策を講ずること。

- 6 ワクチン接種については、国民の努力義務であり、あくまで本人の意思にゆだねられている。接種しない人が日常生活や職場、学校において不利益な扱いを受けることがないよう、個人情報保護の観点を含め、必要な対策を講ずること。

- 7 治療薬・治療法及び国産ワクチンの早期開発、安全性を認めたくえでの早期承認を推進すること。

- 8 唾液を用いたPCR検査及び全自動のPCR検査機器の導入支援や、遺伝子検査キット、抗原検査キット等の生産体制の増強・精度向上を進めるなど、感染拡大防止のため、必要な人が検査を受けられるよう検査能力の向上のための支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。